

# 長期サービスパックサポート

技術革新やデータセンターのパフォーマンス最適化というメリットと、システムアップグレードの統合にかかるコストやリスクとのバランスを取ることは容易ではありません。お客様のビジネスに合ったペースで最新テクノロジーを活用するには、SUSE® Linux Enterprise Server ソリューションの長期サービスパックサポートをご利用ください。



## ■ ソリューション:

SUSE サービス

## ■ 製品:

長期サービスパックサポート

長期サービスパックサポートでは、お客様のペースで新しいサービスパックに移行しながら、フルサポートはそのままご利用いただけます。

## 長期サービスパックサポート： ライフサイクル全体にわたる柔軟性

大規模なデータセンターを管理する場合、最新ソフトウェアアップデートのメリットと、重要なシステム要素の変更に伴うリスクおよびコストのバランスを取る必要があります。また、どのお客様でも最新テクノロジーの利点やハードウェア対応機能をすべて取り入れることが望ましいわけではありません。環境が大規模で複雑な場合は、SUSE 製品サポートのメリットを継続して利用しながら、新しいサービスパックへの移行のタイミングを判断できる柔軟性が必要になります。

長期サービスパックサポートでは、サービスパックマイグレーションのサポート期間を大幅に延長することにより、SUSE Linux Enterprise Server の耐用年数を延長することが可能です。アップグレードに伴うリスクとコストを削減するとともに、環境の安定性と予測可能性を得ることができます。

## SUSE Linux Enterprise Server サービスパックを最大 5 年サポート

Linux ベースの構成では、そのライフサイクルを通じてシステムとソフトウェアを適切に保守し、データセンターのセキュリティと安定性を確保しながら、主要ワークロードに対して最適化する必要があります。SUSE は、機能拡張、セキュリティアップデート、バグ修正、および新規ハードウェアへの対応を目的として定期的にサービスパックを提供しています。SUSE は通常、12 ~ 18 カ月ごとにサービスパックをリリースします。

また、旧サービスパックは、新サービスパックのリリース後、業界標準に従い 6 カ月サポートします。このサービスパックへのアップデート計画を策定、検証、テストするためにそれ以上の期間が必要な場合には、長期サービスパックサポートをご利用ください。長期サービスパックサポートは、旧バージョンの SUSE Linux Enterprise Server で

## UNIX 並みのライフサイクルをはるかに少ない総所有コストで提供することで、高い予測可能性とリスク管理が必要なお客様が、ソフトウェアスタックの優れた価値と安定性を手に入れることができます。

も、ソフトウェアアップデートやテクニカルサポートのサービスの継続を希望されるお客様向けとなっています。対象となるサービスパックの通常のサポート期間の終了後、最大で3年間サポートを延長することができます。そのため、次のサービスパックにゆっくりとしたペースでアップグレードしたり、サービスパックを飛ばしてその後のリリースに移行したりすることができます。

### UNIX 並みのライフサイクルを低コストで実現

SUSE Linux Enterprise Server が発揮する長期的なパフォーマンスと信頼性は実証済みです。データセンターによっては、変更に伴うコストとリスクが、最新テクノロジーやアップデートによって得られるメリットを上回っています。こうしたお客様は、アップデートを本当に必要な部分だけに適用することで、予測可能性を維持し、コストを管理しています。

長期サービスパックサポートでは、SUSE Linux Enterprise Server のメジャーバージョンの標準サポート期間（通常10年間）

の終了後に3年間まで、合計13年間のサポートを受けることができます。UNIX 並みのライフサイクルをはるかに少ない総所有コストで提供することで、高い予測可能性とリスク管理が必要なお客様が、ソフトウェアスタックの優れた価値と安定性を手に入れることができます。

### 長期サービスパックサポートが IBM z Systems のワークロードにも対応

メインフレームの Linux の市場リーダーとして、SUSE では中断時間を最小限に抑えてワークロードを IBM z Systems 上で実行したいという企業ニーズを把握しています。長期サービスパックサポートでは、SUSE Linux Enterprise Server for System z でのほとんどの重要なワークロード構成を長期間維持できます。ミッションクリティカルなワークロードを長期間サポートできるため、パフォーマンスの予測可能性を高めることでリスクを軽減し、各システムのセキュリティを確保できます。また、SUSE Linux Enterprise Server for System z の次のサービスパックや主要リリースへの移行計画に、より多くの時間をかけることが

できるほか、アップデートやテストに伴うコストを先送りできます。

### SUSE Linux Enterprise Server サブスクリプションの価値の増大

長期サービスパックサポートは、既存の SUSE Linux Enterprise Server サブスクリプションを補完するものです。受賞歴のある SUSE レベル1およびレベル2のサポートに加えて、重要なセキュリティアップデートとバグ修正をご利用いただけます。以下が必要な場合は、長期サービスパックサポートのご購入をお勧めします。

- 最新サービスパックへのマイグレーションを延期または回避する間、12～36カ月の不具合修正とサポートを追加
- 拡張サポートにより12～36カ月のテクニカルサポートを追加

長期サービスパックサポートは、x86、x86-64、および IBM z Systems ハードウェアで利用可能で、ソフトウェア拡張リクエストや新しいハードウェアの有効化は含まれていません。

機能	最新サービスパック(SP)の一般サポート			LTSSによる以前のSPの一般サポート	LTSSによる拡張サポート
	1~5年	6~7年	8~10年	4~10年	10~13年
テクニカルサポート	○	○	○	○	○
修正プログラムとパッチへのアクセス	○	○	○	○	○
ドキュメントとナレッジベースへのアクセス	○	○	○	○	○
既存のスタックとワークロードのサポート	○	○	○	○	○
新規導入のサポート	○	○	限定 <sup>1</sup>	限定 <sup>1</sup>	×
拡張リクエスト	○	限定 <sup>1</sup>	限定 <sup>1</sup>	×	×
ハードウェアの有効化と最適化	○	限定 <sup>1</sup>	限定 <sup>1</sup>	×	×
SUSE SolidDriverプログラム(旧称: PLDP)によるドライバアップデート	○	○	限定 <sup>1</sup>	限定 <sup>1</sup>	×
最新SPからの修正のバックポート	○	○	限定 <sup>1</sup>	N/A	N/A
重要なセキュリティアップデート	○	○	○	○	○
不具合の修正手段	○	○	限定 <sup>2</sup>	限定 <sup>2</sup>	限定 <sup>2</sup>

## SUSE Linux Enterprise ライフサイクルの概要

SUSE Linux Enterprise Server 製品の一般サポート期間は通常 10 年間 (SUSE Linux

Enterprise 10 の場合は 7 年間) で、製品の一般リリース日から適用されます。SUSE では、安定性とパフォーマンスの向上、セキュリティの脆弱性への対応、新規ハードウェア

への対応、機能拡張を目的としてアップデートを提供しています。各 SUSE Linux ソリューションのライフサイクルに関する具体的な情報については、[www.suse.com/lifecycle](http://www.suse.com/lifecycle) をご覧ください。

## コストの削減、簡素化、リスクの軽減

変化するテクノロジーに対応しながら、複雑化、リスク、およびコストを抑制するうえで、長期サービスパックサポートは非常に有効です。詳細については、SUSE のセールス担当者または SUSE パートナーまでお問い合わせいただくか、[www.suse.com/support/programs/long-term-service-pack-support.html](http://www.suse.com/support/programs/long-term-service-pack-support.html) をご覧ください。

- 1 パートナー様とお客様のご要望に基づいています。  
2 重大度1および2の不具合のみを対象としています。

SUSE Linux Enterprise Serverプラットフォームのサポートを継続して受けながら、最善のタイミングでサービスパックをマイグレートできます。

[www.suse.com](http://www.suse.com)

	リリース日	一般サポートの終了	LTSSの終了
<b>SUSE Linux Enterprise Server 10</b>			
GA	2006年7月17日	2007年12月31日	該当なし
SP1	2007年6月18日	2009年5月18日	2010年12月
SP2	2008年5月19日	2010年4月11日	2013年4月10日
SP3	2009年10月12日	2011年10月11日	2014年10月31日
SP4	2011年4月12日	2013年8月1日	2016年7月31日
<b>SUSE Linux Enterprise Server 11</b>			
GA	2009年3月24日	2010年12月31日	該当なし
SP1	2010年6月2日	2012年8月31日	2015年8月31日
SP2	2012年2月28日	2014年2月1日	2017年1月31日
SP3	2013年7月1日	2016年1月16日	2019年1月30日
SP4	2015年7月15日	2019年3月31日	2022年3月31日
<b>SUSE Linux Enterprise Server 12</b>			
GA	2014年10月27日	2016年6月30日	2019年7月1日
SP1	2015年12月15日	2017年5月31日	2020年5月31日
SP2	2016年11月8日	SP3リリースの6カ月後	—

### その他の情報

- 長期サービスパックサポート (LTSS) の開始日と終了日は、全ハードウェアアーキテクチャに該当します(たとえば、LTSS SUSE Linux Enterprise Server 12 SP1 for System z の開始日と終了日は、SUSE Linux Enterprise Server 12 SP1 for x86 と同じです)。

- SUSE Linux Enterprise Server 10 SP4 の LTSS は、7年間の一般サポート終了時から適用されます。LTSS は、サポートライフサイクルを3年間延長し、合計で10年間のサポートライフサイクルを提供します。



お近くのSUSEソリューションプロバイダまたはノベル株式会社までお問い合わせください。

ノベル株式会社

〒107-6329  
東京都港区赤坂5-3-1  
赤坂Bizタワー29階  
電話 0800-170-7172 (フリーダイヤル)  
[www.suse.com/ja-jp/](http://www.suse.com/ja-jp/)

SUSE  
Maxfeldstrasse 5  
90409 Nuremberg  
Germany